



体操教室を行いました

白水台地の陽光「さん」



7日(金)に、講師の先生(錦井先生)をお呼びして、低・高学年に分かれての体操教室を行いました。この教室は今年で5年目になります。年々、子どもたちの体操(跳び箱、マット、鉄棒運動)に対する興味が高まり、技の上達もしています。本年度は、跳び箱運動の指導をしてもらいました。

先生は、まず、体育の授業の基本的な部分を、子どもたちに約束されました。素早く行動すること、目を見て話を聞くことです。その後、準備運動、柔軟運動の指導があり、子どもたちは、股関節を柔らかくしたり、前屈をしたりしました。すると、しだいに柔らかくなって、殆どの子どもが最初より体が前に曲がるようになりました。先生は、「毎日続ければ、もっと柔らかくなって、怪我をしないような体になりますので、お風呂上がりに、柔軟運動を続けてください。大人になっても続ければ大丈夫です。」と話されました。それから、跳び箱を実際に跳ぶ前に、その場で、跳び箱の技のポイントの指導がありました。

基本的な指導が終わった後、いよいよを跳ぶ活動に入りました。子どもたちは、技のポイントと手の付き方を頭に入れながら喜んで跳び始めました。初めて跳び箱に挑戦する子や、跳び箱運動に苦手意識をもっている子もいましたが、錦井先生が、補助をされながら丁寧に指導をされ、殆どの子どもが跳べるようになりました。初めて跳べた子は、錦井先生とハイタッチをして満面の笑顔を見せていました。低学年では、3段の後、6段、さらに台上前転に挑戦しました。高学年では、閉脚跳びや、頭はね起き跳び(ヘッドスプリング)にも挑戦しました。跳び箱が得意な子どもは、より高い目標をもって、新しい技にどんどん挑む姿がありました。頭はね起き跳び(ヘッドスプリング)が、見事にできた時には、大歓声があがりました。指導の中の錦井先生の模範演技では、まるでビデオのコマ送りをみるような動作をされ、そのすごさに子どもたちも教師もびっくりしました。錦井先生は、まさに体操指導のスーパーティーチャーでした。

低・高学年それぞれ、60分間の教室でしたが、丁寧な技の説明と模範演技、また、それぞれの力に合わせた場づくりと複数体制での補助により、子どもたちは、意欲的に活動し、跳び箱を跳ぶための技を身につけることができました。最後に、6年生の鈴木柊祐さんが、代表してお礼の言葉を述べました。子どもたちの笑顔とやる気がいっぱいみられた体操教室でした。



昔遊びの協力ありがとうございました。

1年生の学習「昔遊び」のために、地域の方(上村さん、鈴木さん、山口さん、坂本さん)に来ていただきました。こま回し、竹馬、お手玉、けん玉、たこあげの体験をしました。山口さんは、ちょんかけこまの名人で、見事な技を披露してくださいました。初めてこまを回すことができたり、竹馬に初めて乗れたり、また、けん玉の要領が分かったり、子どもたちは、時間を忘れるほど楽しめました。



生き生き集会(5年生の発表)

5年生が合奏(星笛、風とケーナのロマンス、ルパン3世)を披露しました。リコーダー、アコーディオン、木琴、鉄琴を使い、高度な曲を全員で合奏しました。見事な演奏に、他の子どもたちは、みんな聴き入っていました。練習の成果が十分に出た演奏でした。



